

中学部 進路学習について

<目的>

中学部卒業後の進路についての意識を高める。

- ・義務教育を終了した後、どんな進路があるのかを学ぶ。
- ・将来どのような生き方がしたいのかを考える。
- ・自己実現のための、基礎・基本となる生活習慣を身につける。(社会的自立)

<学年指標>

1年生：職場見学を通して、さまざまな仕事があることを知る。

2年生からの進路学習の発表を聞いて仕事に対する興味を深める。

2年生：職場訪問や職業講話、中3の職場体験学習発表会などを通して仕事に対する意識を高める。

3年生：生徒一人ひとりの実態を把握し、それぞれのニーズに応じた職場体験学習を行い、将来の自立に向けて意欲の育成を図る。

<内容>

1. 近隣の店舗探索 (1年)
2. 「働く」というのはどういうことか考える (2年)
 - ・VTR (「いろいろな仕事」・「職場のマナーやルール」等) を視聴する
3. 職業講話を聞く (2年)
 - ・企業や施設の方から、仕事について、働くということについてお話を聞く
4. 職場訪問を行う (2年)
 - ・「働く」場所への訪問・見学を通して「働く」人たちの姿から学ぶ
5. 高等部校内実習見学 (3年)
6. 職場体験を行う (3年)
 - ・キャリア教育支援センターや企業・施設の体験を通して「働く」ことの喜びと誇りを自覚させ、将来社会人となった時の心構えを養う。
7. 2・3年生の学習発表 (全学年)

* 各学年の生徒の状況・実態に応じて、計画・実施する。